

# 日本植物学会第82回大会 NBRPシンポジウム・パネル展示

## NBRPシンポジウム「植物系NBRP リソースとその活用研究最前線」

日時：2018年9月16日（日） 9:00-12:00

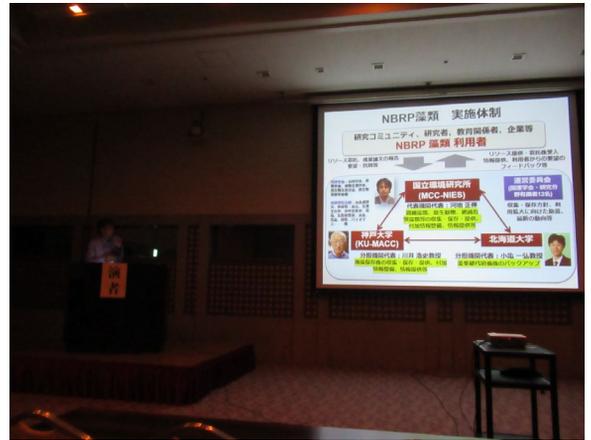
会場：B会場（広島国際会議場内）

参加リソース・課題：藻類、細胞性粘菌、広義キク属、アサガオ、ミヤコグサ・ダイズ、コムギ

出席者150名程度

・最終日の午前中で6箇所のセッション会場があるうちのひとつであったが、参加者は関係者以外で100名ほどであるため、良好な結果となった。

・ユーザー研究への質問以外で、NBRP活動についての質問などはなかった。



# ブース展示

日時：2018年9月14日（金）-16日（日）

会場：H会場（広島国際会議場内）

参加リソース・課題：シロイヌナズナ等実験植物/植物培養細胞・遺伝子、イネ、コムギ、オオムギ、ミヤコグサ・ダイズ、トマト、広義キク属、アサガオ、藻類、細胞性粘菌、酵母、リソース寄託・提供相談窓口（NBRP広報室）

- ・学会全体で会場もコンパクトであり、ブース展示がポスター発表の部屋と同じ場所であったこともあり、各リソースにかなり多くの学生・研究者が熱心にNBRPリソースに興味を持って訪問している様子が見えた。ポスター発表の時間帯は、常に2,3人は各ブースに訪問者がいる状況。
- ・動物リソースとは異なり、各研究者は植物リソースの多様性もひとつの重要な研究要素であると感じた。
- ・今回植物リソースではないが、細胞性粘菌のブース展示でも、多くの訪問者があり、熱心に説明を受けている学生が多かった（一部教員も）。一方、酵母リソースは、以前に植物学会でも扱われていた研究リソースであったらしいが、今回のブース展示では訪問者はほとんどいなかった。
- ・訪問者数は十分であるが、若い研究者（学生）の訪問がほとんどであった。

